

五戸に来春開校「ひばり野西高」

募集定員80人 6月寮着工

学校法人光星学院（八戸）市、法官新一理事長は27日、八戸学院野辺地西高校を移転し来年4月に五戸町に開校するひばり野西高校の第1期入学生の定員を80人と発表した。移転先となる旧五戸高校敷地内に新たに設ける寮は、92人収容で今年6月に着工する。五戸町役場で行われた同町の

協定締結式で明らかにした。また、校長、副校長の予定者に法人事務局の山口吉彦参与（64）、加藤聡参与（61）をそれぞれ充てた。山口参与は十和田西高校元校長で、旧五戸高校では通算17年間教員を務めた。加藤参与は今年3月まで八戸西高校教頭だった。

寮は床面積約688平方メートルの2階建てで、来年2月の完成を目指す。カリキュラムやサッカー部以外に設ける部活動に関しては、7

月に同町で開催予定の説明会で明らかにするとした。五戸町と学校法人が締結したのは、町から学校法人への旧五戸高校の建物無償譲渡契約と、包括連携協定。土地と建物は2025年4月から町の無償貸し付けだったが、建物が自己所有となった法人側は、冷暖房などの施設改修に国庫補助金を見込める。包括協定は人材育成、町づくりの推進、地域産業の振興など6項目。

法官理事長は「学校づくりを町と一体となって進めていきたい」と強調。若宮佳一町長は「高校生が活躍している姿を目にするだけでも活気が出てくる。学校が町活性化の中心的存在になると確信している」と述べた。（中川博志）



加藤 聡 参事



山口 吉彦 参与

ひばり野西高校の校門近くに設ける寮の完成予想図